

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4170500195		
法人名	株式会社ジョウジマ		
事業所名	グループホーム伊万里		
所在地	佐賀県伊万里市二里町八谷搦781-1		
自己評価作成日	平成28年8月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/41/index.php?action_kouhyou_pref_topjiogyosyo_index=true">http://www.kaigokensaku.jp/41/index.php?action_kouhyou_pref_topjiogyosyo_index=true</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成28年9月12日	外部評価確定日	平成28年10月19日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>『一人一人が地域の中で土と水と空気と人とふれあい、その人らしく生きていただく』という理念の下、のびのびと生活して頂ける様に施設せず、開放的な環境づくりをしています。月に1回の外食や選択メニュー、居酒屋の日、ドライブ等を計画し、利用者様に楽しんで頂いています。重度の認知症の方に対し、その人らしく生活して頂ける様に、日常生活の援助や認知症の精神症状や身体的障害にも対応し、状況を理解した職員が通院介助をおこない、ご家族の協力も交え、医療機関との連携を図り、健康管理についても同様に行っています。終末期のケアに関してもご本人やご家族の希望に沿うように、協力医療機関との連携をとっており、24時間対応させて頂いています。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>賑やかな伊万里市の中心市街地に近いが、周囲を田や畑・山などに囲まれた静かな自然の中に建つホームである。ホーム内からは広い空と季節感のある景色を見ることができる。認知症介護に深い思い入れを持つ運営者の元、職員は、利用者個別の考えや思い、残された能力を大切にし、それぞれに合わせて認知症の介護を第一と考えた支援をしている。要介護も個々様々であり、利用者一人ひとりに合わせてどんな人にも対応したサービスに努めている。また、看取りを特別なものと考えず、日々の生活の一部と考えた支援に取り組んでいる。事業所として外出の機会を多く作っているのも特色である。花見などのドライブの他、地域の夏祭りには出演参加し、地域のイベントや町民運動会にも参加している。ステージ発表や作品展出品など利用者が地域の住民に意思を表す機会も多い。毎月、外食の日や昼からビールが飲める居酒屋の日など、楽しい催しも数多く企画されている。元気な利用者が多く、大きな声で話したり笑い声が聞こえる等賑やかである。</p>
--

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	『1人1人が地域の中で土と水と空気と人と触れ合い、その人らしく生きていただく』という理念のもと、日々の業務の携わっている。毎朝、朝礼にて読み上げている。	『1人1人が地域の中で土と水と空気と人と触れ合い、その人らしく生きていただく』という理念のもと、日々の業務の携わっている。毎朝、朝礼にて読み上げている。	事業所の理念を基に、利用者個人個人の考えや思い、残された能力を大切にしながら、一人ひとりそれぞれに合わせた支援を心がけている。管理者と職員は日々の業務を通して理念に沿ったケアの確認と実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事に利用者、職員で参加したり、地区の清掃日には職員が参加している。、グループホームの行事に地域の方にも参加を呼びかけ、つながりを持ち、交流している。	地域の行事にも参加をしたり、グループホームの行事に地域の方にも参加を呼びかけ、つながりを持ち、交流している。	地域の夏まつりやイベント、町民運動会などに積極的に参加している。事業所で開催される夕涼み会は近所の人にも案内され、軽食や綿菓子・ヨーヨー釣り・打ち上げ花火でにぎわっている。近所の方からタンズや洋服を頂くなど地域に溶け込んでいる様子が見えがえる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症に関する勉強会を開催し、行政や地域の方にも参加を呼びかけ、理解を深めて頂く活動を行っている。	認知症に関する勉強会を開催し、行政や地域の方にも参加を呼びかけ、理解を深めて頂く活動を行っている。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回の運営推進会議を実施しており、利用者の状況や行事報告、事業内容の確認などを行い、ご家族や運営委員の方々と意見交換をし、今後のサービスへとつなげている。	年6回の運営推進会議を実施しており、利用者の状況や行事報告、事業内容の確認などを行い、ご家族や運営委員の方々と意見交換をし、今後のサービスへとつなげている。	運営推進会議は行政職員や家族代表・利用者代表・消防団員などの参加で開催されている。計画や報告・情報交換の他、災害対策や感染症の勉強会もなされている。防火訓練時に訓練参加者が判別可能な目印をつけるなど、会議で出された意見は検討して運営に活かしている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市で開催されているコミュニティーケア会議などに参加し、地域や行政の担当者や情報交換をおこない、協力体制をとっている。	市で開催されているコミュニティーケア会議などに参加し、地域や行政の担当者や情報交換をおこない、協力体制をとっている。	行政職員が運営推進会議の委員であることから、日頃から協力関係を築いている。事業所主催の認知症研修会開催時には、行政や他事業所にも声掛けをし、記録の取り方などについて情報を交換している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関するマニュアルを作成しており、研修を行うなど知識を深めている。日中玄関は、施錠せず開放的にしている。車椅子上危険を伴う方が1名安全ベルト着用し、職員が見守れる時間帯ははずしている。又ご家族に同意書をもらい、ユニット会議の時に必要であるかの見直しを検討している。	身体拘束に関するマニュアルを作成しており、研修を行うなど知識を深めている。日中玄関は、施錠せず開放的にしている。転落や転倒の危険がありベッド柵等の使用が必要な方は、ご家族に同意書をもらい使用している。ユニット会議の時に必要であるかの見直しを検討している。	精神的拘束も含めて、研修会やスタッフ会議・ユニット会議で取り上げて研修を重ねている。身体拘束同意書をいただいた方には、身体拘束に関する経過観察並びに検討記録が残されている。玄関や居室は施錠しておらず、利用者は自由に行動でき、職員は見守りながら支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関するマニュアルを作成している。スタッフ研修会でも「虐待について」のグループワークを行い、職員一人一人が意見を出し合い、当たり前になっている事が虐待に繋がらないかなど。言葉の虐待、特に慣れ過ぎてしまっていることもあり、お互い少しのことで気づいたら職員間で注意し合うことを徹底した。	虐待防止に関するマニュアルを作成している。スタッフ研修会でも「虐待について」のグループワークを行い、職員一人一人が意見を出し合い、当たり前になっている事が虐待に繋がらないかなど。言葉の虐待、特に慣れ過ぎてしまっていることもあり、お互い少しのことで気づいたら職員間で注意し合うことを徹底した。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見人制度の勉強会をおこない、理解を深めるようにしている。後見人制度が必要な方は現在いないが、状況に応じ、今度対象者が出た場合は、必要性を検討し活用できるような支援をしていく。	権利擁護や成年後見人制度の勉強会をおこない、理解を深めるようにしている。後見人制度が必要な方は現在いないが、状況に応じ、今度対象者が出た場合は、必要性を検討し活用できるような支援をしていく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約や解除、改定など契約に関することは入居時に利用者やご家族に説明し、理解と納得を得ている。その際、心配な点や疑問点をお聞きし、今後の運営につなげている。	契約や解除、改定など契約に関することは入居時に利用者やご家族に説明し、理解と納得を得ている。その際、心配な点や疑問点をお聞きし、今後の運営につなげている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関ロビーに意見箱を設置しており、随時、意見・苦情・要望などを受け付けている。また、面会時等、お話しする際にも意見要望をお聞きし、今後の運営につなげている。	玄関ロビーに意見箱を設置しており、随時、意見・苦情・要望などを受け付けている。また、面会時等、お話しする際にも意見要望をお聞きし、今後の運営につなげている。	職員は利用者や家族と話すことを心がけ、意見や要望の把握に努めている。重要事項説明書に苦情処理のために講ずる措置の概要が明記され、契約時に説明している。把握した意見や要望はスタッフ会議にかけて検討し、できることはすぐに対応するように努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のスタッフ会議やスタッフ研修、2ヶ月に1回のユニット会議、ステップアップ会議、日々の業務の中でも職員の意見を聞き、管理者会議に議題として取り上げ、職員の意見を運営や業務に生かす様に努めている。	毎月のスタッフ会議やスタッフ研修、2ヶ月に1回のユニット会議、ステップアップ会議、日々の業務の中でも職員の意見を聞き、管理者会議に議題として取り上げ、職員の意見を運営や業務に生かす様に努めている。	定期的な会議の他に夜勤者会議や安全対策委員会、給食委員会などがあり、職員の意見や提案を聞く機会が多い。外出できない利用者のために、ホームでも花見ができるように庭に桜の木を植える等、出された意見や提案・要望は運営に活かせるように検討がなされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の勤務態度や実績を把握し、評価を行い、昇給や福利厚生充実につなげている。	職員個々の勤務態度や実績を把握し、評価を行い、昇給や福利厚生充実につなげている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内の研修はもちろん、職員個々のレベルに合わせた外部研修に参加をしている。また、職員が希望する外部研修にも参加できるようになっている。年に3回、全事業所から管理者以上が集まり、外部から講師をお願いし、勉強会を開催している。	事業所内の研修はもちろん、職員個々のレベルに合わせた外部研修に参加をしている。また、職員が希望する外部研修にも参加できるようになっている。年に3回、全事業所から管理者以上が集まり、外部から講師をお願いし、勉強会を開催している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の病院、他の介護施設に研修の案内を差し上げ、外部から講師を呼んで研修会を開催したり、外部研修にも参加するなど意見・情報交換が出来ている。	地域の病院、他の介護施設に研修の案内を差し上げ、外部から講師を呼んで研修会を開催したり、外部研修にも参加するなど意見・情報交換が出来ている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者本人やご家族、担当ケアマネに情報をもらい、本人の意向や困っている事など、の把握に努めている。情報をもとに安心できる環境や関係作り努めている。	利用者本人やご家族、担当ケアマネに情報をもらい、本人の意向や困っている事など、の把握に努めている。情報をもとに安心できる環境や関係作り努めている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族や担当ケアマネも交え、カンファレンスを行い、ご家族の意向や不安点・疑問点を聞く機会をもち、信頼関係作りに努めている。	ご家族や担当ケアマネも交え、カンファレンスを行い、ご家族の意向や不安点・疑問点を聞く機会をもち、信頼関係作りに努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居1週間は体験入居とし、他のサービスの利用も考慮しながら、本人やご家族の意向などを聞き、本契約をとっている。	入居1週間は体験入居とし、他のサービスの利用も考慮しながら、本人やご家族の意向などを聞き、本契約をとっている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	買い物、料理の下ごしらえ、盛り付け、洗濯物たたみ、掃除など、利用者の力が発揮できる環境作りをし、やりがいや役割を見つけてもらっている。食事と一緒に食べ、暮らしを共にする者同士の関係が築かれている。	買い物、料理の下ごしらえ、盛り付け、洗濯物たたみ、掃除など、利用者の力が発揮できる環境作りをし、やりがいや役割を見つけてもらっている。食事と一緒に食べ、暮らしを共にする者同士の関係が築かれている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会も随時受け付けており、状態報告や情報交換をし、情報を共有することで利用者をご家族と共に支える関係づくりに努めている。遠方のご家族には近況を連絡している。	ご家族の面会も随時受け付けており、状態報告や情報交換をし、情報を共有することで利用者をご家族と共に支える関係づくりに努めている。遠方のご家族には近況を連絡している。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族以外の面会や外出も随時受け付けており、これまで慣れ親しんだ関係や場所、人との関係が途切れないように支援している。かかりつけの病院も継続してお連れしている。	家族以外の面会や外出も随時受け付けており、これまで慣れ親しんだ関係や場所、人との関係が途切れないように支援している。かかりつけの病院も継続してお連れしている。	利用契約時や日常生活を通して、生活歴や人間関係の把握に努めている。馴染みの美容室やお寺、自宅に連れて行くこともある。知人や友人の面会時にはお茶の接待を心がけ、帰りの時にはお見送りするなど、再訪しやすい環境づくりに努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共同スペース(リビング)での会話が弾むようにテーブルの配置を考えたり、職員が中に入って会話の橋渡しをし、一人ひとりが孤立しないように支援出来ている。	共同スペース(リビング)での会話が弾むようにテーブルの配置を考えたり、職員が中に入って会話の橋渡しをし、一人ひとりが孤立しないように支援出来ている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院などで契約更新ができない場合なども、その後の生活のマネジメント等を外部に依頼するなどの支援を行っている。また、契約終了後も随時、相談は受け付けている。	長期入院などで契約更新ができない場合なども、その後の生活のマネジメント等を外部に依頼するなどの支援を行っている。また、契約終了後も随時、相談は受け付けている。		

### Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時の情報や本人・ご家族との会話の中で思いや希望を聞き、以降に添える様に努めている。認知症により、希望が言えない方には、生活歴などを考慮し、本人の立場に立って考える様にしている。	入居時の情報や本人・ご家族との会話の中で思いや希望を聞き、以降に添える様に努めている。認知症により、希望が言えない方には、生活歴などを考慮し、本人の立場に立って考える様にしている。	利用開始前のケアマネジャーや家族から情報を頂いている。職員は、利用者の思いを大切にされた支援を心がけており、普段からよく話しかけている。昔得意だったことや好きなもの・欲しいものなど、感じ取った意向や希望などの情報は申し送りノートに書いて全職員で情報の共有につなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴やこれまでの経過など、情報を本人、ご家族、担当のケアマネ等に尋ね把握に努め職員全員で共有できるようにしている。	生活歴やこれまでの経過など、情報を本人、ご家族、担当のケアマネ等に尋ね把握に努め職員全員で共有できるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりに対して、1日の過ごし方の経過を記録に残し、それをもとに身体状況や残存機能、排泄リズム等の把握に努めている。	利用者一人ひとりに対して、1日の過ごし方の経過を記録に残し、それをもとに身体状況や残存機能、排泄リズム等の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の現状やご家族の意見、関係機関の情報などを取り入れ計画作成している。2ヶ月おきにユニット会議を行い、職員全員でカンファレンスをし、計画の見直しを行っている。	本人の現状やご家族の意見、関係機関の情報などを取り入れ計画作成している。2ヶ月おきにユニット会議を行い、職員全員でカンファレンスをし、計画の見直しを行っている。	生活援助計画には、解決すべき課題や短期目標・具体的計画内容・評価が分かりやすく書かれている。ケアプランチェック表で毎日評価を実施し、定期的な会議と合わせて現状に即した介護計画が作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者一人ひとりの個別記録やケアプランのチェックを毎日行い、1ヶ月ごとに反省を記録している。変更や気づきなどは申し送りノートに記入し、確実に情報の共有できている。	利用者一人ひとりの個別記録やケアプランのチェックを毎日行い、1ヶ月ごとに反省を記録している。変更や気づきなどは申し送りノートに記入し、確実に情報の共有できている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	遠方のご家族の代行で入退院時の支援、洗濯を請け負ったり通院介助、家族の状況で手術に立ち会えない場合などもあり、その時の状況で対応可能なサービスに取り組んでいる。	遠方のご家族の代行で入退院時の支援、洗濯を請け負ったり通院介助、家族の状況で手術に立ち会えない場合などもあり、その時の状況で対応可能なサービスに取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	生花教室、映写などの地域のボランティアや消防団に協力してもらい、地域の行事参加や防災や避難(地震・火災・水害等)などの連携の支援を得ている。	生花教室や映写ボランティアなどの地域のボランティアで趣味や娯楽を楽しみ、消防団の協力のもと、地域の行事参加や地震・火災・水害等の災害対策の連携支援を得ている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業 所の関係を築きながら、適切な医療を受 けられるように支援している	利用者様やご家族の希望により、 これまでのかかりつけ病院を継続 して通院出来る様に援助をしてい る。その他、特にかかりつけ医がい ない方に関しては、当ホームの連 携病院を紹介し、同意を得てから 通院介助を行っている。	利用者様やご家族の希望により、 これまでのかかりつけ病院を継続 して通院出来る様に援助をしてい る。その他、特にかかりつけ医がい ない方に関しては、当ホームの連 携病院を紹介し、同意を得てから 通院介助を行っている。	入居前のかかりつけ医の継続受診 を基本としているが、利用者や家族 の意向で協力医への変更も支援し ている。通院は、遠方の医療機関 も含めて事業所職員で対応してい る。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえ た情報や気づきを、職場内の看護職員や 訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利 用者が適切な受診や看護を受けられるよ うに支援している	毎日バイタル測定を行い、その他 にも常に状態の観察を行う事で、異 変に気づき、看護職員やかかりつ け病院の看護師に報告を行っている。 状態により、適切な受診や看護 が受けられるように支援している。 現在2名の方は毎日状態報告を主 治医にFAXしています。	毎日バイタル測定を行い、その他 にも常に状態の観察を行う事で、異 変に気づき、看護職員やかかりつ け病院の看護師に報告を行っている。 状態により、適切な受診や看護 が受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や 相談に努めている。又は、そうした場合に 備えて病院関係者との関係づくりを行っ ている。	入院の際には、利用者様の情報 (特に認知症状による問題点など) を詳しく説明し入院中も適切な対応 をしてもらえるように連携をとって いる。又、回復具合も考慮し、出来 るだけ早く元の生活に戻れるよう病 院側と連携し、早期退院に努めて いる。	入院の際には、利用者様の情報 (特に認知症状による問題点など) を詳しく説明し入院中も適切な対応 をしてもらえるように連携をとって いる。又、回復具合も考慮し、出来 るだけ早く元の生活に戻れるよう病 院側と連携し、早期退院に努めて いる。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所ですることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルケアの方針や指針・同意 書を作成しており、時期を見て、本 人やご家族の意向を確認しながら 終末期の話し合い、現在2名の方 の同意書をもらっている。地域の医療 機関と事業所・ご家族など利用者 様を取り巻く関係者として連携作り をおこなっている。	ターミナルケアの方針や指針・同意 書を作成しており、時期を見て、本 人やご家族の意向を確認しながら 終末期の話し合いをおこなってい る。また、地域の医療機関と事業 所・ご家族など利用者様を取り巻く 関係者として連携作りをおこなって いる。	契約時に、看取りに関する考え 方を説明し同意を得ている。ターミ ナルに係る同意書には手順が詳しく 明記され、看取りについて事前確 認書と終末期における確認事項書 類がそろっている。利用者の状態 に合わせて家族と話し合う体制が できており、家族と主治医・事業所 は方針を共有している。これまで数 多くの看取り経験がある。	



自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応や事故発生時の動きなどのマニュアルを作成している。また、救急隊の指導の下、心肺蘇生やAEDの取り扱い方法の研修会をおこない、実践力を養っている。	急変時の対応や事故発生時の動きなどのマニュアルを作成している。また、救急隊の指導の下、心肺蘇生やAEDの取り扱い方法の研修会をおこない、実践力を養っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中・夜間を想定した避難訓練を年2回おこない、地域の消防団や民生委員、運営推進委員などにも参加を呼びかけ、連携体制をとるようにしている。	日中・夜間を想定した避難訓練を年2回おこない、地域の消防団や民生委員、運営推進委員などにも参加を呼びかけ、連携体制をとるようにしている。	年2回、利用者も参加して防火訓練を行っている。訓練時は、近隣住民にお知らせ文書が配布され、サイレンも実際と同じように鳴らしている。夜間訓練には消防団も参加している。AED使用訓練も実施され、記録は写真付きで詳しく残されている。職員は消火器が使える。	

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者1人1人を尊重し、プライドを傷つけない対応を心がけ、接遇の勉強会をおこなったり、朝の申し送り時に、敬語表現を読み上げ言葉遣いに気をつけている。	利用者1人1人を尊重し、プライドを傷つけない対応を心がけ、接遇の勉強会をおこなったり、朝の申し送り時に、敬語表現を読み上げ言葉遣いに気をつけている。	職員は、利用者本人の人格を尊重した言葉かけや口調に注意している。毎朝丁寧言葉の発声練習をし、いやな言葉かけをしない、優しい言葉を使うよう努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で、要望や思いを言えるように働きかけている。食事や飲み物などを選択できるように、バイキング形式にするなどの工夫をし、自己決定の場を設けている。	日々の生活の中で、要望や思いを言えるように働きかけている。食事や飲み物などを選択できるように、バイキング形式にするなどの工夫をし、自己決定の場を設けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課はあるが、その日によって、利用者の希望でドライブをしたり、外食にお連れするなどの柔軟な対応をしている。	日課はあるが、その日によって、利用者の希望でドライブをしたり、外食にお連れするなどの柔軟な対応をしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪型や服装などの好みをいえる方は、その人らしい身だしなみができるように援助している。また、女性の方は、お化粧品やマニキュアを施すなどおしゃれを楽しんでいただいている。	髪型や服装などの好みをいえる方は、その人らしい身だしなみができるように援助している。また、女性の方は、お化粧品やマニキュアを施すなどおしゃれを楽しんでいただいている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むきや下ごしらえ、食器拭きなどの後片付けを職員と一緒にこない、皆と一緒に食卓を囲むことで食事を楽しんでもらえている。	野菜の皮むきや下ごしらえ、食器拭きなどの後片付けを職員と一緒にこない、皆と一緒に食卓を囲むことで食事を楽しんでもらえている。	給食委員会があり、食事が楽しみなものになるよう検討されている。毎月、外食の日や居酒屋の日の他、赤飯の日・混ぜご飯の日・カレーの日・利用者が一緒に作るおやつの日など、食事が待ち遠しくなる工夫がされている。利用者はよく喋り、殆どの人が完食するなど、賑やかな食事時となっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者それぞれの食事状況に合わせて、刻んだり、おかゆにしたり、トロミをつける等、摂取しやすい形態にし、栄養や水分が摂りやすい工夫をしている。チェック表で摂取量を確認し、少ない場合は代替品で補給するなどバランスを考え提供している。	利用者それぞれの食事状況に合わせて、刻んだり、おかゆにしたり、トロミをつける等、摂取しやすい形態にし、栄養や水分が摂りやすい工夫をしている。チェック表で摂取量を確認し、少ない場合は代替品で補給するなどバランスを考え提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを実施し、チェック表で確認をしている。介助が必要な方は職員がおこない、清潔保持や感染症予防に努めている。	毎食後、口腔ケアを実施し、チェック表で確認をしている。介助が必要な方は職員がおこない、清潔保持や感染症予防に努めている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者個別の排泄パターンの把握をするため、記録をとり分析している。誘導や介助をおこない、失禁を減らし必要以上にオムツを使わず、自立した排泄を支援している。	利用者個別の排泄パターンの把握をするため、記録をとり分析している。誘導や介助をおこない、失禁を減らし必要以上にオムツを使わず、自立した排泄を支援している。	利用者一人ひとりに合わせた排泄の自立支援を心がけている。職員は、利用者の様子を見るように努めており、声かけや誘導でトイレで排泄できるよう支援している。金銭的不安に配慮し、トイレ誘導でパッドの量を減らす努力もなされている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を作成し、有無を把握している。水分や運動・食物繊維の多い食事や乳製品などをとってもらい排便を促している。改善が見られないときは便秘薬で調整をしている。	排便チェック表を作成し、有無を把握している。水分や運動・食物繊維の多い食事や乳製品などをとってもらい排便を促している。改善が見られないときは便秘薬で調整をしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的に毎日入浴を実施しており、体調や希望に沿って入浴をしてもらっている。ゆっくり時間をかけて何回も湯船に浸かる方、シャワーだけを希望される方、全介助の方、個々様々に対応している。入浴できない日は清拭や更衣をし清潔保持に努めている。	基本的に毎日入浴を実施しており、体調や希望に沿って入浴をもらっている。入浴されなかった日には、清拭や更衣をし清潔保持に努めている。	入浴は毎日でも可能で、入浴順や時間・回数など利用者の要望に沿って支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自分で移動できる方は居室に戻り、テレビをみたり、好きな趣味(ぬり絵)をされたり、又居室のベッドやソファで横になったり、各々に休息されている。訴え出来ない方や動けない方は居室にお連れしたり、リビングのソファで休息をとれるように支援している。	個人の居室で思い思いに休息をとられたり、体調を見ながら職員が休息を促すなど、1人1人の状態を見ながら援助している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容や用量など薬局からの説明書を確認し、把握している。個別での医療ノートを作成し医師や薬剤師からの注意などあれば記入し、職員全員で確認している。	薬の内容や用量など薬局からの説明書を確認し、把握している。個別での医療ノートを作成し医師や薬剤師からの注意などあれば記入し、職員全員で確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	以前の趣味や生活歴を把握し、現在の状況とあわせ、買物やドライブ、手芸など役割や楽しみを持って過ごしていただけるように支援している。	以前の趣味や生活歴を把握し、現在の状況とあわせ、買物やドライブ、手芸など役割や楽しみを持って過ごしていただけるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎月10日を外食の日と決め、普通食が食べれる方(6名)を回転寿司等にお連れしている。好きな物を選んでもらい、ビールも飲んでいただいている。それ以外の日も希望の場所を聞いて、ミキサー食の方には柔らかいお菓子をもって、ドライブに出かけている。	ドライブや毎月の行事など外出できる機会を設けている。職員だけでは対応できないときは、ご家族や地域の支援をもらい、安全に支援できるように協力してもらっている。	のどかな環境にあるホーム周りは、散歩したり日光浴するのに適しており、利用者は敷地内や近くの堤防までの散歩など行きたいところに出かけている。出かけられない利用者には、車イスやベッドの位置を工夫し、少しでも外気を吸えるように支援している。外食や花見ドライブなど外出の機会も多い。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の管理能力を見ながら、お金を所持していただき、現在4名の方が所持している。他の方は財布を預かり、ドライブした時や移動販売が見えた時など財布から自分で出して使われるように支援している。	利用者の管理能力を見ながら、お金を所持してもらったり、外出時などに使ってもらうようにしている。現在、2名の方が小額ではあるがお小遣いを所持している。そのほかの方は、お小遣いを預かり、外出時などに渡し、買物をしてもらっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はリビングに設置し自由に使用できるようにしている。電話の取次ぎや書いた手紙を送ったりと家族や知人とのやり取りをできるように支援している。	電話はリビングに設置し自由に使用できるようにしている。電話の取次ぎや書いた手紙を送ったりと家族や知人とのやり取りをできるように支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングや台所など共有スペースには、季節感のある飾り付けやソファ、テーブルを置き、生活感のある安心できる空間作りを心がけている。室温調節や明るさなどにも気をつけ、快適に過ごせるようにしている。	リビングや台所など共有スペースには、季節感のある飾り付けやソファ、テーブルを置き、生活感のある安心できる空間作りを心がけている。室温調節や明るさなどにも気をつけ、快適に過ごせるようにしている。	ホーム内は家庭的雰囲気が感じられる設えである。自然光を取り入れるように努め、西日対策にシェードを活用している。職員は大きい声を出さないように気をつけ、利用者が穏やかな精神状態を保てるように支援している。落ち着いた上品な手芸を飾り、季節感を演出している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースではテーブルの配置などに気をつけ、また、ロビーにはソファを配置し、気のあった利用者同士で過ごせるような配慮もしている。	共有スペースではテーブルの配置などに気をつけ、また、ロビーにはソファを配置し、気のあった利用者同士で過ごせるような配慮もしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(かえで棟) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(あかり棟) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居に際し、できるだけ使い慣れたものを持ってきてもらい、生活に早くなれていただけるようにしている。しかし、身体状況や認知症状により、以前のものが使用困難と場合は、状況にあった備品を配置するようにしている。	入居に際し、できるだけ使い慣れたものを持ってきてもらい、生活に早くなれていただけるようにしている。しかし、身体状況や認知症状により、以前のものが使用困難と場合は、状況にあった備品を配置するようにしている。	入居契約時に、自宅で使い慣れた馴染みの品などの持ち込みを支援している。TVや仏壇・机・イス・写真や手芸品などで自宅に居るような居室づくりが支援されている。中には、水屋まで持参した利用者も居る。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自室やトイレなどが分かりやすいように明記し、段差には手すりを配置、通路には障害物になるような物を置かないようにすることで安全に自立した生活ができるように配慮している。	自室やトイレなどが分かりやすいように明記し、段差には手すりを配置、通路には障害物になるような物を置かないようにすることで安全に自立した生活ができるように配慮している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	#####	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○		1. ほぼ全ての利用者が
			○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○		1. ほぼ全ての家族と
			○	2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○		1. ほぼ毎日のように
			○	2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○		1. ほぼ全ての家族等が
			○	2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない